

新型コロナに効く薬は!? その2～臨床試験とEBM～

◆ 就実大学薬学部 教授 渡辺雅彦

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)治療薬として、レムデシビルが日本においても特例承認され、本薬剤など各種治療薬の臨床試験が各所で実施されています。

医薬品の臨床試験は、安全性確認の第1相試験に始まり、有効性評価のための第3相試験を経て承認へと向かいます。COVID-19 流行の初期に、〇〇〇が効いたというニュースが多く流れましたが、多くの場合、これらは上記臨床試験以前の、救命等の目的で行う探索的な投与といえます。これらの結果もその積み重ねにより、その後の臨床試験の方向付けなど有用な知見となったわけですが、1つ1つの話は単なる1症例に過ぎず、いたずらに1つの事例を取り上げるのは、例えば怪しげな民間療法をもてはやすのと変わらないレベルかもしれません。

医療においては根拠に基づく医療 EBM evidence-based medicine が重要です。EBMにおけるエビデンスの強さは、単なる専門家の意見は低く位置付けられ、上記のような1症例(症例報告)、その積み重ね(症例集積)を経て、第3相試験として多く用いられる、比較対象群を設けた無作為化比較試験(RCT)で一応の確立に至ります。しかし、RCT といえども例えば人種の違いなど、様々な理由により結果が一様でないことがあります。このような場合、複数のRCTを統合解析する系統的レビュー・メタ解析という手法があり、いわばエビデンスの多数決として、最も高いエビデンスレベルとされています。これらの手法を用いることで、多くの医薬品や食品成分等の安全性・有効性評価が行われています。

消毒用エタノールと消毒用エタノール IP の豆知識



新型コロナウイルスの蔓延により消毒用アルコールの需要が高くなっています。

皆様、**消毒用エタノールIP**をご存じでしょうか。消毒用エタノールには、エタノールが76.9～81.4vol%含まれていて、このエタノールはビールや焼酎に含まれているアルコールと同じものです。そのため、飲用される酒類と同様に酒税が課税されます。

消毒用エタノールIPは、エタノールにイソプロパノール(IP)を添加物として加えたもので、酒税がかからないため消毒用エタノールより安価です。もちろんどちらも殺菌効果は同じで、使い方に違いはありません。

感染対策としてアルコール消毒をする機会が増えており、消毒後は手荒れを防ぐためにハンドクリームなどでしっかり保湿をしましょう。当薬局で取り扱っているクリーム・・・バリアケアクリーム **かゆみなどのトラブルが起きにくい肌へ**
顔・からだにも使えます。税込 3,520 円



～薬局からのお知らせ～

★2020年7月1日より、手提げ付レジ袋をご希望の方は 1枚につき5円いただくようになりました。
マイバックの持参にご協力をお願いいたします。

★しゅうじつ薬局は来月で開局1年を迎えます。日頃の感謝を込めて、**8月3日より各種イベント**(くじ引きや試食会)を予定しております。詳しくはホームページをご確認ください。 薬局HP QRコード

★営業時間:平日 8時半～18時。当薬局は全国の医療機関の処方せんを受付いたします。

就実大学薬学部附属薬局 岡山県岡山市北区田益 1291-1 TEL:086-294-9100

